

「教育課程論」通信

vof.01

2コマの流れと記録

「ご飯がいくらでもすすむ、わたしのご飯のお供」というテーマのアイスブレイクから2023年度の「教育課程論」は幕をあけました。

導入として、「小学校の参観日の授業がいつも国語や算数なのはどうして？他のを見せてもよくない？」という、教育課程にまつわる保護者の声に対してはみんなはどう思う？という話題提供がされました。学生からは、「保護者は授業の内容まではみていないんじゃない？」「教科の特性として、国語や算数は1回の授業で完結しやすいから、保護者も納得しやすいのかも」というような意見がでました。

その後グループで、広島大学にきたばかりの留学生たちに2泊3日の広島合宿プランを考えました(2段目参照)。その際、広島のエライ人たちの声(広島の色々なものに関わって広島の一人になってもらいたい/先端的な科学研究を広島で学んでほしいなど)を踏まえて、グループとしてのコンセプトを具体化する形で取り組みました。プランを作り終えて、自分たちのプランにはどのような学びの要素があるのか、それらをなぜその順番で並べたのかという、スコープとシーケンスの2観点で分析をしました。同じタイプでも、シーケンスが違ったり、プランの立案者によって色がでていたことを全体で共有し、学生ふりかえりにも多くあったように、カリキュラムには、学び手の関心だけではなく社会からの期待という側面が入り込むことを体験的に学びました。それを踏まえて、同じカリキュラムの発想でも、教え手の解釈で授業の活動は異なってきて、学び手側の「子どもの得たこと」は違ってくる可能性があり、その「ズレ」をどう捉えていくかを引き続き考えていく必要があることを共通認識しました。



タイプ別典型例の紹介 (留学生に企画する広島合宿プラン)

～授業中に相互コメントをするのに忙しくて、全部の事例を見れなかった人も実はいたのでは ということ、それぞれのタイプでの典型的なプランを紹介&整理してみました～

A:社会適応主義的なプラン

プラン名	日本、広島好きになろう!	活動の内容	その日のコンセプト	全体のコンセプト
1日目 午後	広島電車でお宮へ 広島の本ホテル泊まる		日本のホスピタリティ、温泉の満喫 「これが日本か!」の体験	Japanese culture 体験 平和都市ヒロシマ
2日目 午前	広島酒場 もみじ探検つくり体験		広島酒の歴史、文化に触れる みんなでキャキキャキワイする、自分事として産地について考える	広島の有名な観光地、広島に興味! であらう。一緒に留学生たち間で日本人々との交流、観光を。
2日目 午後	杜鰐小旅行って平和公園へ			
3日目 午前	真ん中へ行って大和ミュージアムへ		「かわいい」日本をみてもらう 見る!体験する!	
3日目 午後	広島市に乗り渡り観光へ			

学び手を中心に据えて、広島らしいもみじ饅頭体験などをしながら、「これぞ、広島らしさ!」を体験してもらうようなプランになっています

B:社会的効率主義なプラン

プラン名	1+2+3=6	活動の内容	その日のコンセプト	全体のコンセプト
1日目 午後	広島県(広島のサテライト)体験や話を聞く系		第一次産業、第二次産業について学ぶ	職業に関する学び 第一〜第三次産業までを広く学ぶ
2日目 午前	機械工業系(車のマツダ)工場見学系		第二次産業について学ぶ	・第三次産業は、観光や、其の部の産業などを見て、知っていく ・広島について知る
2日目 午後	広島観光(団体)		観光関係以外にも興味関心をも!	
3日目 午前	平和公園(原爆ドーム、平和記念資料館)		広島市の歴史について学ぶ	広島市の歴史について学ぶ
3日目 午後	広島市内を自由行動(個人)も絡む		留学生が自分から動いて、興味関心に集中する楽しんでもらう	

社会の役に立つという観点から、産業について学んでもらうという、社会側の期待が前面にたプランで、そのためにマツダの工場の見学などが配置されていました

C:子ども中心主義的なプラン

プラン名	コネクトヒロシマ	活動の内容	その日のコンセプト	全体のコンセプト
1日目 午後		自分が興味のあるものブースについて話を聞く(何題も良い) 【原爆ドーム(平和記念資料館)お好み焼き・レモン 熊野亭 方眼 焼肉(焼鳥)】	広島で生きるとして、広島になんかだのに関心を持ち、それを自分の財産とつなげて社会を切り拓いていく糧にする。	自分が興味のあるものについて体験すること、今後の自分の生きていく糧を考えるとつながりがある。
2日目 午前		自分が選んだものの体験に行き		
2日目 午後		体験の続き		
3日目 午前		広島観光		
3日目 午後		広島観光		

留学生の関心をもとに体験ができるようになっており、そのなかで体験を通して知を積み上げていけるような仕掛けになっております

D:社会改良主義的なプラン

プラン名	広島にもっと人を!	活動の内容	その日のコンセプト	全体のコンセプト
1日目 午後		広島を外国人観光客目線で、どんなサービスがあったらいいかを考えながら観光	広島を外国人観光客目線で、どんなサービスがあったらいいかを考えながら観光	外国人観光客目線で、どんなサービスがあったらいいかを考えながら観光
2日目 午前		広島県庁などで競争での出来事、経緯を知る。	平和都市としての広島を知り、政治的・学問的関心を養われるように知ってもらううえで、実際に問題点について考えてもらうことを最終の目標として設定した。	平和都市としての広島を知り、政治的・学問的関心を養われるように知ってもらううえで、実際に問題点について考えてもらうことを最終の目標として設定した。
2日目 午後		広島酒の歴史、マツダや核廃止への取り組みなどを知ることで現在の広島を知る。		
3日目 午前		広島カーブによって何がどう変わったかを知ること、広島の人々のあたたかさを感じたり、特徴を知ったりする。	広島市の歴史を知り、観光や外国人が活躍できる場を創出できるようにするにはどうしたらいいかを考える。	広島市の歴史を知り、観光や外国人が活躍できる場を創出できるようにするにはどうしたらいいかを考える。
3日目 午後		大瀬産業やマツダなど世界的に活躍する企業と、中小企業の両方を見学し、それぞれに求められることを知ったり、課題したりする。		

広島観光資源について知りながら、社会変革のための視点で、産業の問題点を指摘する活動が組み込まれていました

編集後記

広島大学教育学部の「教育課程論通信」記念すべき第1号です。これがいつ、どういうふうにみんなの役に立つのか、完全に未知数なのが若干の懸念ですがどうぞよろしくお願い致します

授業中少し話題にでてましたが、グループでの交流のとき、どんな並びだとどういう作用が生まれるか、話し合いのしやすい席の配置はどうがいいのかみたいなことを教育実習に行く前に、学び手の立場として経験して考えられるのはすばい財産になると思います。文字数足りない!それではまた再来週!

[制作・編集 馬越夕椰(教育課程論TA)]

南浦先生の今日のひとこと

初回の授業でみなさんに提示したことは2つ。
カリキュラムにはいくつかの「主義」としての考え方が
あること。
カリキュラムは解釈によって変わりうること。
これを手がかりにこれからも分析していきましょう!